

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2021年3月期第3四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。  
株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ① 2021年3月期第3四半期 業績ご報告

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化した後、持ち直しております。企業収益は製造業、非製造業ともに大きく悪化し、個人消費は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出自粛の影響などにより急速に落ち込んだ後、緊急事態宣言の解除に伴い持ち直しておりますが、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービス消費は低水準にとどまっております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響については、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」や、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,151百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業利益254百万円(前年同四半期比57.7%減)、経常利益272百万円(前年同四半期比55.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益205百万円(前年同四半期比55.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」の販売が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、5,309百万円と前年同四半期と比べ226百万円の減収となりました。

損益面では、効率的なプロモーション活動等に努めましたが、売上高が低調に推移するなか、セグメント利益は、192百万円と前年同四半期と比べ218百万円の減益となりました。

#### ② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、1,834百万円と前年同四半期と比べ26百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めましたが、セグメント利益は、62百万円と前年同四半期と比べ36百万円の減益となりました。

#### ③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、7百万円と前年同四半期と比べ64百万円の減収となりました。

損益面では、セグメント損失は、0百万円と前年同四半期と比べ92百万円の減益となりました。

(百万円未満切捨て)

### 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,151	△4.2	254	△57.7	272	△55.9	205	△55.5
2020年3月期第3四半期	7,468	△4.5	601	31.1	617	29.7	462	24.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 428百万円(△47.7%) 2020年3月期第3四半期 818百万円(370.4%)  
(2021年2月10日公表)

### 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益 円銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2021年3月期予想	9,500	△2.8	300	△33.9	300	△40.8	190	△41.0	46.68
2020年3月期実績	9,774	△3.1	453	8.6	507	12.9	322	△8.4	79.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

負けない身体づくりのための新習慣!

## ② ヘルシールド 新発売

ハイパープロテクトカプセル®に包んだ「生きたビフィズス菌」「ラクトフェリン」と話題の「シールド乳酸菌®」を配合

当社は、負けない身体づくりをサポートする「シールド乳酸菌®・ビフィズス菌・ラクトフェリン」の3素材を配合したサプリメント「ヘルシールド」を、2020年11月25日(水)に新発売いたしました。話題の「シールド乳酸菌®」を100億個配合するほか、年齢を重ねると減ってしまう「ビフィズス菌」20億個と、母乳に多く含まれるタンパク質で大人の健康の源とも言われる「ラクトフェリン」25mgを配合しています(1包当たり)。ビフィズス菌とラクトフェリンは、当社のハイパープロテクトカプセル®で包み、胃液から守って腸まで届けるのが特長です。健康維持や自己防衛意識が高まっている今、新しい生活様式を取り入れつつ負けない身体づくりを目指す方のセルフケアを支える“ニューライフサポートサプリ”として、通信販売で発売しております。



### <配合する3素材>

#### シールド乳酸菌®(顆粒)

人間が本来持っている健康力をサポートする乳酸菌。数千株もの中から選び抜かれた乳酸菌で、盾(シールド)のように外部からの敵を防御することをイメージして名付けられました。生きた菌でなくても健康力をサポートすることが確認されています。

#### ビフィズス菌(カプセル)

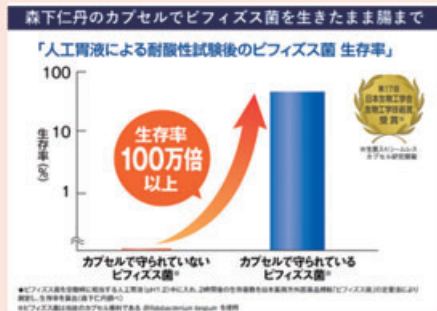
年を重ねると減ってしまうビフィズス菌。そのまま摂っても胃酸で死んでしまうため、森下仁丹の耐酸性カプセルでガードしています。ビフィズス菌を生きたまま腸まで届けます。

#### ラクトフェリン(カプセル)

ヒトの母乳、特に初乳や牛乳に多く含まれるタンパク質。ラクトフェリンは赤ちゃんだけでなく、大人の健康にも重要と言われているラクトフェリンを森下仁丹の耐酸性カプセルで包み、胃液に負けず腸まで届けます。

### <製品特長>

- 1包あたりシールド乳酸菌® 100億個、ビフィズス菌20億個、ラクトフェリン25mgを配合した、“守る力”をサポートするサプリメント。
- 森下仁丹の胃液から守るハイパープロテクトカプセル® が、生きたビフィズス菌とラクトフェリンを“腸へ届ける”。
- 直径2.5mmの極小サイズカプセルで飲みやすく、美味しく続けやすいレモン風味。



### 製品概要

製品名	ヘルシールド
名称	ビフィズス菌・殺菌乳酸菌・ラクトフェリン含有食品
原材料名	エリスリトール(国内製造)、食用油脂、オリゴ糖、ゼラチン、殺菌乳酸菌末、デンプン、ビフィズス菌末/グリセリン、ラクトフェリン、乳化剤、酸味料、増粘剤(ベクチン)、香料、着色料(クチナシ、カロチノイド)(一部にゼラチン・乳成分・大豆を含む)
内容量	30包(1包1.3g)
お召し上がり方	1日1包を目安に水などと一緒にご召し上がりください。
保存方法	直射日光、高温、多湿をさけて保管してください。
摂取する上での注意事項	1. 妊娠中、授乳期の方はご使用をお控えください。 2. 次の方はお召し上がりになる前に医師又は薬剤師に相談していただくか、弊社までお問い合わせください。 ①食品アレルギーのある方 ②医師の治療を受けている方 3. 本品の使用により発疹、嘔吐、アレルギーなど体に変調をきたした場合には、直ちに使用を中止してください。 ※個包装開封後はなるべく早くお召し上がりください。 ※乳幼児の手の届かないところに保管してください。 ※春～秋の間、特に高温になる場所に置くのはさけてください。 ※本品は天然由来原料を使用しているためカプセルの色が若干変わることがありますが、品質上問題ありません。
価格	4,980円(税込)
販売ルート	通信販売

## ③ 「シームレスカプセル」ハラール認証取得のお知らせ

～世界のイスラム市場に向けた自社プロバイオティクス製品の展開およびOEM事業を推進～

当社は、ビフィズス菌や乳酸菌などのプロバイオティクスを内包する継ぎ目のないカプセル「シームレスカプセル」を対象に、特定非営利活動法人日本アジアハラール協会※1(理事 Saeed Akhtar Dr. (Dr.サイード・アクター))のハラール認証※2を取得したことをお知らせいたします。

当社のプロバイオティクスを内包するシームレスカプセル技術は、既に主力製品であるサプリメント「ビフィーナ®」に用いられており、日本国内をはじめタイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、ラオス、台湾、香港、中国などの全国各地域で販売しています。今回のハラール認証取得により、自社プロバイオティクス製品のイスラム市場への展開を目指すほか、対象施設である大阪テクノセンター(大阪府枚方市)および滋賀工場(滋賀県犬上郡)にてハラール認証シームレスカプセルのOEM事業を推進してまいります。

世界のムスリム人口が18億人から2030年には22億人へと推移

し、世界人口の約26.4%に達するという予測※3に伴い、ハラール認証はISO、GMP、HACCPといった各種認証と同様に要求される国際標準規格となりつつあります。ハラールマーケットの急速な拡大が見込まれるなか、当社は今後も文化や習慣の異なる多様なお客様への安心安全な製品のご提供を目指してまいります。



当社の「シームレスカプセル」

- ※1 特定非営利活動法人日本アジアハラール協会:世界のハラール認証で主流であるマレーシア認証機関(JAKIM)、シンガポール政府系機関のシンガポール・イスラム評議会(MUIS)、タイのハラール認証機関(CICOT)などと相互認証を取得しています。
- ※2 ハラール認証について:ハラールはアラビア語の言葉、ハラール=ハラール=Halalより由来しており、直訳は「許可されたもの」です。ムスリムが日常生活において、口にすることも、身に着けるものは、イスラム法で許可されているものがハラールとなります。食品に関しては豚由来、飲料用アルコールなどを使用しない事を求められます。
- ※3 出所:農林水産省資料(MajililGlobal, Faostat, Halal Products Research Institute, University Putra Malaysiaより)

